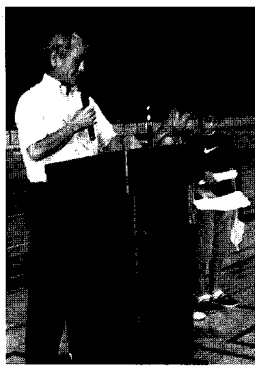


ふれあいのひろば

敬老会
9月20日
堀内信行氏 103歳講演
参加者 一三三人

平間中学校の体育館で盛大な敬老会が開催されました。第一部式典では、県議会議長の田島信二氏、市議会議員の市古映美氏の御祝辞と103歳の堀内信行氏の健康法の講演を聴きました。

第二部では平間中学吹奏楽部や老人会の太鼓と三味線による演奏、近藤智子さん主宰のフラダンス、持木幸子さん主宰の健康体操など楽しい一時を過ごしました。(厚生部)



下河原小の校長祝辞

市民救命士講習会

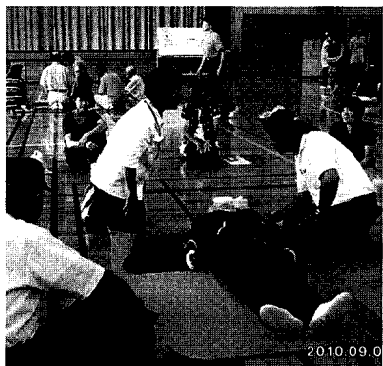
9月5日



中原消防署の指導により今年も救命救急訓練の講習会が開催されました。今年も伊勢浦町会と第二町会の共催で実施され、48名の市民救命士が誕生しましたが第二町会では一家に一人の有資格者を目標にしています。



消防署の指導者の皆さん



6グループに分れて指導を受ける



実技の前に講演を聞く



103歳の堀内信行さんに下河原小の児童から花束



平間中学のブラスバンド



人形ではなく人間で



中学生も母親と共に



上平間第二老人クラブ



恒例の花笠音頭

かわら版

平成22年10月1日発行
上平間第二町会
編集責任者 堤 秀 夫
印刷所 長谷川印刷(有)

ふれあい教室

町会の婦人部と文化部の女性役員が協力して「ペーパーキリリング教室」が夏休みに入った7月25日に開催されました。お父さん、お母さんに連れられた子供さんや、お友達と連れだつた男の子や女の子が楽しく半日を過ごしました。



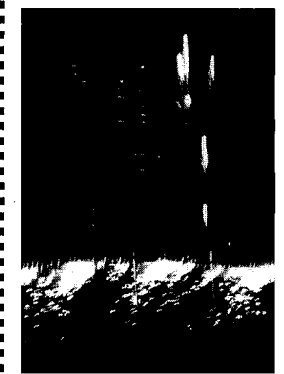
頭を使いながら取組む

夏休み親子花火大会

7月18日絶好の日和りに恵まれて、多摩川河川敷の青少年広場で開催されました。かき氷のサービスや風の無料配布もあり、親子づれの約四〇〇人の参加があり、初夏の夜の一時を楽しみました。



かき氷のサービス



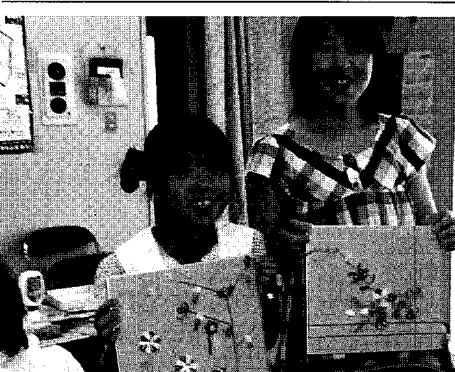
ナイアガラの滝



ゆりの会有志による東京音頭



来賓の皆様が鑑賞



お母さんと作品を



お父さんと一緒に考えつつ

曼珠沙華

今年土手の雑草の刈られるのが遅く、曼珠沙華も埋もれて、よく見えなかった。例年はかわいそうだと思いつつ、三度、仏花にさせてもらう。ある時、三本ほど手に戻つてくると、一人で車椅子に乗る男性と行き逢つた。六十代か、七十代か。顔立ちもよく覚えていない。言葉の記憶も正確ではない。ただ、たいへん美しい目だ。

平間幼稚園の思い出

多摩川に近い、天神台のバス停近くの平間幼稚園は、五十年前には平屋の一棟があっただけのかわいい幼稚園だった。園庭の隅には、そのころ珍しい、螺旋形をした滑り台が据えられていて、春先には豆の花が咲いたりする。土手へも、すぐに登ることができた。車の道路もなく、誠に安全。これという遊び道具もないまま、六才の私たちは緑の中をかけまわっていたものだ。

スクールバスもないので、朝は近くの待ち合せ場所へゆくと、先生がはるばると歩いて迎えてきて下さるのだった。舗装されていない道は、ぬかるんだり霜柱が立ったりする。歩くこと自体が楽しかった。先生は、お幾つだったのだろう。若い女性で、いつも笑顔でおられ、大きな声を出されたという記憶がまるでない。皆で牧場のような所へ出かけた時、斑模様の牛がふ

で微笑しながら、「その花には毒がありますよ」と、教えてくれたのである。そんなことは少しも知らなかった私は、驚いて礼を言った。それだけのことだ。花も捨てなかつた。ただ、何でもいい、もつというならなことを教えてもらえれば良かったかななどと、曼珠沙華が咲くたびに、思い返されてきて仕方のない御一人なのである。(水花)

いに柵の近くまで歩いてきた。それがあんまり大きくなって泣きそうになった子どもを片手で抱きしめながら、もう一方の手を他の子どもたちへ振って、歌いはじめたりした。冬の日には、弁当を持参しなかつた子どもも、御自分のあんパンを石炭ストーブの上で、暖めてやっていたこともある。自分で言うのも変かもしれないが、子どもたちの側も、元気であったけれど、乱暴な言葉を口にしたこと、泣いたり怒ったりしたこと自体が、あんまりなかつたような気がする。そうして、毎日、教室に座り、いろいろなことを教えてもらっていたはずなのに、方々でも残念ながら、この方々はまるで覚えていないのである。今の時代は、何を教わっているのだろうか。子どもでいっぱい幼稚園の前を通るたびに、そう思っている。(井蛙)



